

現場見学会 後記

2022 年 5 月 10 日（水）

株式会社 構造計画

柳 優輝、織井 拓暉

1. はじめに

2023 年 5 月 10 日に、（仮称）NTT 仙台中央ビル新築工事の現場見学会が実施されました。現場見学に先立ち、事務所にて現場所長の鹿島建設株式会社 村上様より、建築概要の説明を受けました。

計画地は JR 仙台駅から徒歩 9 分、都心部の利便性と杜の都仙台の豊富な緑を感じられる位置になっています。規模は地上 19 階、地下 1 階、延べ床面積約 42,000 m²、高さ約 88.7m、鉄骨造(柱 CFT)/一部鉄筋コンクリート造の免震構造となっています。地下 1 階は駐車スペース等に使用するため、柱頭免震工法を採用したとのことでした。1 階～4 階はイノベーションスペース、コワーキングスペース、ラボ、5 階～19 階は賃貸オフィスが計画されています。

2. 現場見学

現場見学は屋上から順に下階に降りる形で進みました。屋上ではタワークレーンで設備機械の設置作業が行われていて、今後搬入が終了し一月かけてクレーンの解体がされるそうです。また屋上からは仙台市内が一望でき、水平線も見ることができました。その後、19 階～1 階まで階段で降りながら各階を見学しました。下層から順に内装工事が行われているため、下るにつれて内装工事が進捗していく様子をみることができ、作業がどのように行われているか流れが把握しやすかったです。1 階はカーテンウォールの下地取り付けの作業が行われていました。イノベーションスペース等が計画予定ということですが、カーテンウォールから取り込まれる光と設置予定の植栽で内外の境界を感じさせない、人々の活気あふれる空間が出来上がるのだろうと感じました。

最後に地下階にて免震装置についての説明もいただきました。用いられた免震装置の積層ゴムの最大径はおよそ 1.5m で、免震装置が載る地球側基礎は幅が 3m 弱にもなるそうです。

3. まとめ

今までビルの現場を見学したことがなかったことに加えて、仙台都心再構築プロジェクトとして注目度の高い現場を自分の目で見ることができ、とても貴重な経験となりました。普段免震構造について触れる機会も少なく、今回の現場見学で実際に見ることができとても勉強になりました。

4. 謝辞

建物概要、現場での説明だけでなく、様々な質問にも解りやすく丁寧に対応していただいたこと感謝いたします。現場見学をお受けいただいた鹿島建設株式会社様、この度は本当にありがとうございました。